



尼崎混声合唱団

第9回

震災を忘れないメモリアルコンサート

2015年2月8日（日）

13：30 開場/14：00 開演

西宮プレラホール



主催：特定非営利活動法人 ええうた工房

ひょうご安全の日推進事業



ごあいさつ

尼崎混声合唱団 団長 笠井 明

本日は、ご来場ありがとうございます。
今年には阪神・淡路大震災から20年目になります。あれから20年も経ってしまいましたが、私達にとってはあの震災は忘れてはいけないものであり、「ボランティア元年」としての原点でもあります。その後も東日本大震災の例を出すまでもなく、ますます防災の必要性や助け合いの意義は高まっています。今回は特に防災の内容も盛り込んでいますので、少しでも関心を持って頂けると有り難いです。演奏会としても、練習を重ねてまいりましたので最後まで楽しんで頂けたら幸いです。

「ひょうご安全の日推進事業」とは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れず安全で安心な社会づくりを進め、国内外の被害を軽減するための事業です。

Program

【Ⅰ部】

指揮：横田清文 ピアノ：加藤崇子

混声合唱とピアノのための

『イタリア歌めぐり』

編曲/名田綾子

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. サンタ・ルチア | 訳/小松 清 | ナポリ民謡 |
| 2. 女心の唄 | 訳/堀内敬三 | 作曲/G.ヴェルディ |
| 3. 帰れソレントへ | 訳/徳永政太郎 | 作曲/E.デ・クルティス |
| 4. わが太陽よ | 訳/川路柳虹 | 作曲/E.ディ・カプア |
| 5. フニクリ・フニクラ | 訳/清野 協・青木 爽 | 作曲/L.デンツァ |

【Ⅱ部】復興ステージ

指揮：横田清文 ピアノ：加藤崇子

- | | | | |
|--------------|-----------|----------|-------------|
| 「勇気100%」 | 作詞/松井五郎 | 作曲/馬飼野康二 | 編曲/橋本 剛 |
| 「アンパンマンのマーチ」 | 作詞/やなせたかし | 作曲/三木たかし | 編曲/石若雅弥 |
| 「麦の歌」 | | | 作詞・作曲/中島みゆき |

❖❖❖❖❖❖❖❖❖ 休憩 15分 ❖❖❖❖❖❖❖❖❖

【Ⅲ部】

指揮：横田清文 ピアノ：加藤崇子

寺山修司の詩による6つのうた

『思い出すために』

作詩/寺山修司 作曲/信長貴富

1. かなしみ
2. てがみ
3. 世界のいちばん遠い土地へ
4. ぼくが死んでも
5. 思い出すために
6. 種子たね

Program Notes

【I部】

『イタリア歌めぐり』

兵庫県出身で東京芸大卒の若手の作曲者名田綾子さんの編曲です。誰もが聞いたことのあるイタリアの名曲を若く自由な感性で遊び心も入れながら編曲されています。

ご本人からコメントを頂きましたのでご紹介いたします。

「言わずと知れたイタリアの名曲たちを、私なりのアプローチで様々なスパイスを加えアレンジしてみました。いわゆる原曲に忠実なよくあるアレンジではなく、イタリアなのにボサノバやサルサのリズムを入れたり、3拍子の曲を4拍子にしてみたり…かなり自由な試みになっています。楽しんでいただけたら幸いです。 名田綾子」

【II部】

『勇気100%』は東日本大震災の復興ソングです。歌詞が元気の出る内容になっていて、「頑張ろう」というエールになっています。また、この曲はアニメの「忍たま乱太郎」の主題歌です。その「忍たま乱太郎」の作者の尼子騷兵衛さんは尼崎市出身で、登場人物の名前にも「猪名寺」「潮江」「久々知」「下坂部」「次屋」等々、尼崎の地名が多く登場するアニメです。私達「尼崎合唱団」としても親近感がありより一層元気良く歌える歌です。

『アンパンマンのマーチ』は2013年に94歳で亡くなったやなせたかさんのアニメ主題歌です。その曲を石若雅弥さんが編曲した東日本大震災の復興ソングです。この曲が何故復興ソングになるかという理由は歌詞にあります。「何の為に生まれて、何をして生きるのか？答えられないなんて、そんなのは嫌だ」「そうだ、うれしいんだ、生きるよこび。たとえ胸の傷がいたんでも」などは抽象的な表現でありながら哲学的とも言えるメッセージが込められていて、つらい戦争体験をした作者が本当に伝えたかったメッセージだったと思われます。頑張る人達への、また支える人達への応援の復興ソングです。

『麦の歌』はご存知NHKの朝ドラ「マッサン」の主題歌です。中島みゆきさんが朝に相応しく、苦勞を乗り越えて明るく前向きに「明日」へと進む姿をさわやかに歌っています。「あきらめない日本人の応援歌」をコンセプトとして依頼されて誕生した歌のようですので、正に復興の「応援」ソングですね。

【III部】

『思い出すために』は詩人・劇作家の寺山修司氏の詩に、信長貴富氏が曲をつけたものです。最初は女声2部で作られ、次いで男声2部でどちらもシンプルで骨太な表現になっています。それを混声4部にも編曲し、骨太な部分も残しながらメロディアスな表現が鮮明になっています。6曲ともに、つらい事や悲しい事があっても、どこか希望や一筋の光明を未来に感じさせる詩であり、ある意味復興ソングともなっています。

Profiles

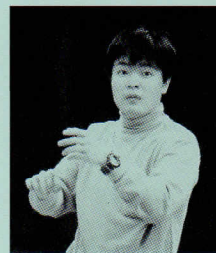
横田 清文

東大阪市立縄手北中学校時代から合唱に親しみ、大阪府立淀川工業高校グリークラブ、豊中混声合唱団等で合唱経験を重ねる。合唱指揮並びに指導法を前川成美、高嶋昌二、須賀敬一の各氏に、発声法を早瀬一洋氏に師事。

アンサンブルトレーナーとして京都府立西城陽高校合唱部、大阪市立白鷺中学校合唱部等を全日本合唱コンクール全国大会に送り出した。

現在、大阪メールクワイアー、尼崎混声合唱団常任指揮者、女声合唱団Ayaの指揮者を務め、在京の、いそべとし記念男声合唱団の指揮者、コール77の他、京都府立西城陽高校合唱部、大阪府立淀川工科高校グリークラブ、大阪経済大学グリークラブ、合唱団BastaBasta等のヴォイストレーナー、アンサンブルトレーナーとして合唱指導を続けている。

Outsider代表、大阪府合唱連盟理事。



加藤 崇子

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。リサイタル及びジョイントリサイタル多数開催。小澤征爾氏指揮の「第九」のピアニストを務める。大阪シンフォニカー（現 大阪交響楽団）とサン・サンスのピアノ協奏曲五番を共演。器楽・声楽・合唱のパートナーとしてクラシックのみならず、ジャズやポピュラーに至るまで幅広いジャンルをレパートリーとする。1989・1990年毎日新聞社より最優秀ピアノ指導者賞を、1999年長井奨励賞を受賞。ピアノを故 和田 克、伊藤恭子、ソロ及びドイツリート伴奏法をJÖRG DEMUSの各氏に、指揮法を須賀敬一氏に師事。コンクールの審査員や講習会の講師としても各地から招かれている。Outsider主宰。



第8回 震災を忘れないメモリアルコンサート



Members

Soprano	阿藤 文子 北野 淑蓮	奥瀬 ちづる 佃 美詠子	笠井 美知代 富松 美知子	川上 愛恵
Alto	阿藤 千春 長津 和歌子 真嶋 淑子	河内 佐恵 開本 恭子 松岡 妙子	鈴木 雅子 日浦 千尋 森木 久美子	滝野 たみ子 福田 篤子 山添 由利子
Tenor	笠井 明 中栄 浩太郎	川村 圭一 松本 進	澤幡 慶司	鈴木 茂
Bass	井澤 常和 竹岡 勇夫	小野川 晃久 土屋 芳弘	坂地 郁馬	高田 眞策

尼崎混声合唱団

2006年8月に6名で創団。2012年6月に『尼崎混声合唱団』（略称「あまこん」）に改名しました。入団の条件は特にありません。まじめに取り組む方でしたらどなたでも入れます。歌の好きな方、私たちと合唱の楽しさを味わってみませんか？

練習見学も随時受け付けています。お気軽にお問合せ下さい。

ぜひ一緒に歌いましょう。お待ちしております。

練習日 毎週木曜日 午後7時～9時 （塚口南地域学習館など）

練習会費 月3,000円 （学生1,500円） 楽譜などは実費

ホームページアドレス : <http://www.amakon.net/>